

位ナコトデアリマス

○八並武治君 例へバ貴衆兩院議員ノ中ニモ辯護士ガ澤山居リマス、又貴衆兩院ノ議員ヲ罷メテ辯護士ヲヤツテ居ル人モアリマス、斯ノ如キ經歷ヲ有ツテ居ル人ハ、無論其中ニ含マレテ宜クハナイカト思ヒマスガ、御見込ハ如何デアリマスカ、具體的ノ御見込ヲ御聽キ申シタイ

○志水政府委員 之ハ一寸六ケシイ問題ト考ヘマスガ、被告人ノ最モ信賴スル所ハドノ點デアリカト云フト、矢張法律上ノ知識ト云フコトニ重キヲ置クノデハナカラウカ、サウスルト是ガ第一デアリマスガ、ソレカラ軍事上ノ見地カラ申シマス、軍隊特有ノ事柄ガアリマス、是モ一ト通り心得テ居ルト云フガ如キコトモ大ニ必要デアリマス、是等ノ見地カラ、雙方ノ目的ガ達セラル、ト云フコトデアレバ、所謂理想ノ辯護デアリマスケレドモ、サウ云フコトガ果シテ得ラル、ヤ否ヤ、ソレハ疑ヲ懷イテ居ルノデアリマス

○八並武治君 ソレデハ兎ニ角此範圍ヲ成ベク擴メルヤウニト云フ希望ダケ申上ゲテ置キマス

○志水政府委員 承知致シマシタ

○渡邊昭君 陸軍軍法會議ノ第八十七條デアリマスルガ、被告人ガ辯護人ヲ選任スル場合ハ、公訴提起ノ後ト云フコトニナツテ居リマスノデ、本法ニ依ルト、被告人ガ豫審中ニ於テ取調ヲ受ケル際ニ、辯護人ノ選定ハ出來ナイ、内實選任ハ出來テモ、屈出ハ出來ナイコトニナル、然ルニ普通ノ司法裁判ニ於テハ、勿論豫審中ニ於テモソレガ出來ルノデ、今日ノ實際ノ取扱ニ於テハ、公訴ヲ提起セザル以前ニ於テモ、尙ホ辯護士ノ屈出ヲ受理シテ居ル、ソレハ斯ウ云フ場合ガゴザイマス、極ク簡單ノ事件ニ就テ、警察ヨリ檢事局ニ移リ、檢事ノ取調ニ依ツテ直チニ公判ニ附スルト云フ場合、被告人ガ辯護人ヲ選定スル機會ガ無イト云フ場合ニ於テハ、被告ハ甚ダ不利益ノ立場ニ立ツノデ、警察ノ方ヘ引致サル、ト云フ事實ガアルト、直チニ辯護人選任ノ屈ヲ勿論警察ノ方ヘハ出來マセヌガ、檢事ノ手許ニ事件ヲ廻ハスト同時ニ之ヲ屈出デハ、スルト檢事ガ此事件ヲ公訴スルヤ否ヤ決セザル

以前ニ於テモ之ヲ受理シテ居リマス、然ルニ本法ニ依ルト、公訴ヲ提起シタ後、或ハ長官ノ命令ニ依ツテ公訴ヲ提起セシムル後ニアラザレバ、辯護人ノ選任屈出ハ出來ナイノデアリマス、是デハ被告人ノ爲メニ不便不利益ノ場合ガ多クアルト思ヒマスガ、此點ニ付政府委員ノ御説明ヲ願ヒマス

○志水政府委員 御承知ノ如ク此案デハ、豫審ハ犯罪搜查ノ何ト申シマスカ、延長ト云ハンガ如キ意味ヲ以テ拵ヘマシタノデ、サスレバ別ニ豫審ト犯罪搜查ノ區別ハ要セスノデハナイカト云フ議論モ段アリマシタ、豫審ハ必要ノ強制處分ヲスル、搜查ハ原則トシテ強制處分ヲ許サス、ソレデ矢張搜查ノ延長トシテモ、豫審ト搜查ト區別ヲシテ、等シク法務官ガソレニ任ジテモ、豫審官ト搜查官ト區別スルノガ宜シイ、人權問題トシテモ其方ガ宜シイト云フ意味カラ、公訴提起前ノ豫審、殊ニ其豫審ハ公訴ヲ提起スル價值アルヤ否ヤノ程度ヲ調ブル豫審、サウ云フ意味ノ豫審デモ、尙ホ搜查ト豫審ト區別シテアリマス、ソレデ其豫審ニ辯護ヲ用キテハドウカト云フ問題モ全然起ラヌデモアリマセヌデシタガ、ソレハ殆ド行ハレナカッタノデス、若シ其議論ガ盛ニナルト、大ニ考慮シナケレバナラヌ事デアツテ、此前申ス如ク軍事裁判手續ハ何ガ精神骨子デアリカト云フト、迅速機敏ト云フ事ガ骨子デアリ、マダ公訴提起前ノ犯罪搜查ノ延長ト云フ時代ニ辯護ヲ許ス事ニナレバ、第一此迅速機敏ト云フ事ガ期セラレヌノデアリ、云フノデアリマスカラシテ、初メカラ此豫審ニ辯護ヲ許スト云フコトハ、起草者ハ慮ラナカッタノデアリマス、又多年ノ調査中ニ於テ、其事ハ議論トシテ起ラナカッタノデアリマス、ソレカラ自分等ガ承ツテ居ル所デハ、公訴提起前ノ豫審ト云フモノガアル、ソレニ辯護ヲ許スヤ否ヤト云フコトハ、隨分普通ノ裁判デモ問題ニナツテ居ルト思ヒマス、本法ハ主トシテ豫審ノ性質ガ斯ノ如キモノデアリ、ソレカラ迅速機敏ト云フコトヲ此制度ノ骨子トシテ居リマスカラ、其目的ヲ達スル上ニ於テモ、豫審ノ辯護ハ適當デナイコトハ、モウ一ツハ被告人ガ不利益ヲ見ルト云フコトハ、成程理由アル御意見ノ如クデアリマスガ、唯ダ御

參考ノ爲メ、少シク軍隊デ特殊ノ事情アル事、又軍隊デハサウナクテハナラヌトシテ頻リニ慮ツテ居リマス事、ソレヲ申上ゲテ置キマス、ソレハ斯ウ云フ事ニナツテ居ル、自分ノ隊長トカ司令官ダト云フ人ハ、最モ平タク申スト怖イ人デアリ、ソレト同時ニ最モ自分等ガ信任スル人、自分等ノ利益ニナル人デアリ、斯ウ云フ教ガアルノデアリマス、專ラ其方ニ意ヲ用キテ居ルノデアリマス、ソレデ軍隊ニハ軍隊家庭ト云フ言葉ガアリマス、軍隊ニ於テハ中隊長ハ慈母慈父ノ如キモノデアリカト云フ方針ヲ以テヤツテ居ル、ソレデ軍紀ヲ維持シ、部下ノ軍紀ヲ正ス責任アル隊長ガ、其部下ガ被告人ニナツタトキハ、其被告人ノ爲メニ辯護ノ勞ヲ執ル將校ト云フ資格ヲ以テ、我部下ノ被告人ニ向ツテ辯護ノ勞ヲ執ルト云フコトスラアリマスサウデス、現ニ外國ノ實況ヲ承ハルトサウナツテ居ル、是ハサウナクテハナラヌ、斯ウ云フ事モアリマスカラ、少シク普通一般ノ被告ト趣ガ違ツテ居ルダラウ、サウ云フ趣ガアリマスカラ、要スルニ辯護モ公訴提起後デ宜シカラウ、マア要ヲ摘ンデ申セバサウ云フ譯デアリマス

○渡邊昭君 私ノ質問ガ徹底致シテ居ラヌヤウニ思ヒマスルガ、只今御伺ヒマシタノハ、豫審ニ辯護ヲ附スルト云フ意味デナクシテ、公訴提起前ニ於キマシテハ、辯護人ノ選任ト云フ事ヲ爲スコトガ出來ナイト云フ規定ニナツテ居リマスガ、サウナルト被告人ノ爲メニハ甚ダ不利益ナル場合ガアル、所謂辯護人ヲ附ケタクモ、辯護人ヲ附セズニ公判ヲ開キ、判決ヲスルト云フ場合ガアルダラウト思フ、ソレハ本法ノ第三百八條以下三百十八條迄ノ規定ニ依リマスルト、公訴前ニ於キマシテモ被告人ヲ拘留スル場合ガアルヤウニ思ハレル、サウ云フ際ニ於テ、公訴ハ起ツテ居リマセヌガ、萬一調査ノ結果ナリ、或ハ豫審ノ結果ニ依リ、公判ニ付セラレルト云フ場合ニアリマシテハ、其機會ガ十分アレバ宜シウゴザイマスガ、機會ガ十分ナイ場合ガ現在ノ司法刑事裁判所ナドニ於キマシテハアルモノデスカラ、サウ云フ場合ニ於テ斯ウ云フ規定ガアリマスルト、絶對ニ公訴前ニ此辯護人選任ト云フコトヲ提起スルコトガ出來ナクナルト思ヒ

マスガ、其事ヲ承リタイ

○内田政府委員 只今ノ御尋ハ、諒解致シマシタ、此點ニ就キマシテハ、本法ニハ明カニ此公訴ノ提起アリタル後ニ辯護人選任ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトニ規定ヲ致シテ居リマスルガ、現行ノ刑事訴訟法ニ於キマシテ、公判ニ於テ辯護人ノ選任ヲ爲ス事ヲ得ルト云フ規定ガアリマシテモ、而モ實際ノ取扱手續ハ、公判以前ニ於キマシテ、辯護人選任ノ届出デテ假ニ受理致シテ居ル取扱アリマスル、此取扱振ハ本法實施後ニ於キマシテ、軍法會議ノ取扱ニ於キマシテモ同様ニ相成ルコトデアッテ、選任ノ效力ノ發生ハ公訴ノ提出後デアリマスルケレドモ、實際ノ取扱トシテ、公訴提起前ニ辯護人ノ選任ハ假ニ受理致シ置クト云フコトニ相成ルデアラウト思フノデアリマス、然ラズンバ只今ノ御説明ノ如ク、實際上不便ヲ感ズルコトガ往々ゴザイマスルカラシテ、自然サウ云フ取扱手續ニ相成ルコト、考ヘマス

○渡邊昭君 此軍法會議法案ノ第二十八條デアリマスガ、此二十八條ノ事ガ諒解致シ兼ネルノデアリマスガ、此場合ハドウ云フ場合デアリマスルカ、具體的ニ御説明ヲ願ヒタイ、管轄軍法會議ニ於テ法律上ノ理由又ハ特別ノ事情ニ因リ裁判權ヲ行フコト能ハサルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ管轄移轉ノ決定ヲ爲スヘシ此法律上ノ理由、又ハ特別ノ事情ト云フ此場合ラ一ツ御説明ヲ願ヒマス

○内田政府委員 第二十八條ノ規定中、法律上ノ理由ト申シマスルノハ、判士タル者ガ除斥若ハ回避等ノ理由ニ因リマシテ、其職員ガ缺之致シマスル、又ハ判士トナル員數ガ其地ニ於キマシテ極メテ人少ノ爲メニ缺乏ヲ致シマスルト云フヤウナ場合ニ、軍法會議ニ於テ裁判權ヲ行フ能ハザル場合ガ生ズル事ガアリマスル、例ヘバ海軍ニ於キマシテハ、豫後備軍法會議デアルトカ、又ハ戰時ニ於ケル臨時軍法會議ト云フ所デ、此問題ガ生ジ得ルノデアリマス、又「特別ノ事情」ニ因リ裁判權ヲ行フコト能ハサル場合ト申シマスルノハ、地方ノ民心ニ關係アル、例ヘバ抗命又ハ反亂ノ類ノ如キ事件デアッテ、其地方ニ於テ此裁判權ヲ行フコトヲ不可トシマスル場合ノ如キハ、矢張此

中ニ入ルノデアリマス

○渡邊昭君 モ二點程御尋致シタイノデスガ、二百九十四條ノ告訴デアリマス、告訴ニ付テノ規定ハ二百八十八條ニ規定シテアリマス、所謂被害者ハ何人ト雖モ告訴ヲ爲スコトヲ得ルトアリマス、告訴ト云フノハ即チ此次ノ二項ニ參リマシテ「請求ヲ待チテ受理スヘキ事件」ニ付テノ請求ニ之ヲ準用ス「ト云フコトニナッテ居リマスガ、請求ヲ待チテ受理スル事件ハ、所謂告訴ノ如キモノデ、親告罪モ矢張請求ヲ待チテ受理スル事件デアアル、何レモ告訴モ親告罪モ其ニ請求ヲ待チテ受理スル事件ト了解シテ宜シウデゴザイマスカ

○志水政府委員 此請求ヲ待チテト云フ文字ヲ殊更ニ書キマシタノハ、實質ニ於テハ矢張告訴デアリマス、刑法ノ國交ニ關スル罪ノコトデアリマシテ、被害者ガ外國人デアルトカ云フ時分ハ、告訴ノ文字ニ代ヘテ請求ト云フ字ガ書イテアリマス、要スルニアレヲ書キマシタノデス、此前ノ御尋ヲ少シ聽キ違ヒテ居リマシタガ、ソレニ付テ斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、被害人ト辯護人トノ間ニ辯護約束契約ヲスルト云フ相互ノ事ハ此法律ハ見テ居リマセスカラ、何レノ時期デモ宜シイノデス、併ナガラ審級毎ニ之ヲ爲スト云フ、是ハ辯護人ノ選任ヲ軍法會議ニ向ッテ意思ヲ發表スルニ付テノ規定デアリマスカラ、ソレデ公訴提起後ト云フノハ、其形式ノ事ヲ申シマスノデ、被告人ト辯護人トノ間ノ相互ノ契約ヲシテ居ル、アレハ見テ居リマセス、其事ヲ一寸申上ゲテ置キマス

○委員長(鵜澤總明君) 質問ハ他ニアリマセスカラ——私一點質問致シタイト思ヒマスガ、現行法ハ豫審モ公判モ總テ長官ノ命ニ依ッテ着手ヲスルト云フコトニナッテ居ル、今度ハ之ヲ改メテ、檢察官ノ請求ヲ待ッテ着手ヲスルヤウナ改正案ニナッテ居ル、斯ウ云フコトノヤウニ丁解ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、同ジク統率權ノ關係カラ、一ハ犯罪ニ對スル訴追ノ勵ヲスルヤウニナリ、一ツハ犯罪ニ對シテ公平ナル審判ヲスルト云フヤウナコトニシテ、二ツノ勵ヲ公平ニ實行スルヤウナ立前ガ、軍法會議法ダラウト

思ヒマスガ、其邊ニ就テ少シ立案ノ趣旨ヲ承ッテ置キタイト思フ

○志水政府委員 只今ノ御尋ハ豫審官ト訴追官トノ區別ヲ致シマシタ趣意デアリマスガ、是ハ斯ウ云フ事ニナッテ居リマス、豫審官ハ即チ普通裁判制度ノ豫審判事、ソレカラ檢察官ハ即チ檢事デアリマス、ソレデ職務ノ性質カラ申シマス、豫審官ハ裁判官トナッテ居リマス、豫審官スル上ニ於テハ、不羈獨立何等他ノ干涉ヲ受ケス、ソレニ對シテ訴追官ハ、即チ檢察官ノ方ハ、司法行政ニ屬スル事柄ニ依ッテ、上司ノ命令モ受ケ、訓令モ受ケルト云フ性質ノモノデアリマス、ソコデ訴訟手續ノ敏速トカ、便宜ト云フ方カラ申シマス、訴追即チ檢察官ガ豫審ヲ兼ネレバ最モ便宜デアリマス、最モ敏速ガ期セラレルノデアリマス、併ナガラ豫審官ハ不羈獨立デ、裁判官ノ性質ヲ帶ビテ居ル、訴追官タル行政官ノ性質ヲ帶ビテ居ル人ニ、同時ニ裁判官ノ仕事ヲサセ、行政處分ヲサセルト云フ事ハ面白クナイ、又人權保護ノ上カラモ弊害ガアルノデ、ソレヲ等シク法務官ヲシテ兩者ノ機關ニ致シマスケレドモ、豫審官ニ充テル法務官、檢察官ニ充テル法務官トシテ、性質ノ違ッタコトヲサセル、サウ云フ意味ニ於テ殊更ニ之ヲ別ニシタ、ソレデハ豫審官ハ己ノ職權ヲ以テ、請求ガナクモ豫審ニ着手シテ宜イカト云フト、サウハ行カヌノデアアル、矢張請求ヲ待ッテ豫審ニ着手スル、着手シタ以上ハ不羈獨立、斯ウ云フ意味ニ致シマス、其請求ハ、檢察官ノ請求ハ長官ノ旨ヲ承ケテ請求スルノデアアル、是ハ貴族院デモ、何故之ヲ區別スルモ、寧ロ一緒ニシタ方ガ宜クナイカト云フ議論ガアリマシタケレドモ、只今申上ゲタヤウナ理由デアリマスカラ、兩者ヲ區別致シマシタト云フ答ヲシテ置キマス

○委員長(鵜澤總明君) モウ一ツソレト牽聯シタヤウナ事デアリマスガ、陸軍軍法會議ノ第十條ニ「高等軍法會議ハ陸軍大臣ヲ以テ長官トス」デアッテ、ソレカラ第六十五條ニ「陸軍大臣ハ公訴及搜查ヲ指揮監督ス」デアリマス、一面ニ於テハ公訴及搜查ヲ指揮監督スル、一面ニ於テハ裁判ノ長官ニナルト云フヤウナ場合ヲ豫想サレテ居ル、之ニ就テ公平ニ裁判ノ行

ハレルベキ保障ハ何處ニ求メル譯ニナリマスカ

○志水政府委員 陸軍大臣ヲ高等軍法會議ノ長官ト致シマス規定ハ、所謂軍法會議ノ長官ノ場合デアリマス、ソレカラ六十五條ノ陸軍大臣ハ、高等軍法會議ノ長官ト云フ資格デナク、陸軍大臣デアアル、斯ウ云フ立案ノ意味デアリマス、ソレデ軍事裁判制度ガ、性質ニ於テ如何ナルモノデアアルカト云フコトニ就テハ、夙ニ議論ガアリマシテ、是ハ大ニ議論ヲ致シマシタガ、今日ハ軍令事項デハナクシテ、矢張軍政事項デアルト云フ風ニ、各國ノ制度ガ皆サウナツテ居ル、サウスルト裁判ト云フ側デナクテ、其裁判事項ノ統轄者ガナケレバナラス、ソレハ陸軍大臣デアアル、陸軍大臣ハ裁判其モノニハ干涉ノ權力ハナイ、併ナガラ公訴ヲ指揮シ監督シ、又搜查ヲ指揮監督スル機關デナケレバナラス、是ハ即チ軍法會議ニ於ケル公訴及犯罪搜查、此ノ指揮監督者ハ軍事行政ノ首腦者タル陸軍大臣ヲ以テ決メルノ適當デアアル、斯ウ云フ意味カラ出來テ居ルノデアリマス、高等軍法會議ノ長官トシテ、陸軍大臣ト少シ資格ヲ違ヘテ見テ居リマス

○委員長(鶴澤總明君) サウスルト、軍法會議ノ方ハ是ハ何方ノ關係ニナルノデスカ、軍政デナシニ軍令ニナリマスカ

○志水政府委員 是ハ大層六ヶシイ御話ニナリマスケレドモ、師團長、軍司令官、混成旅團長ト云フ如キモノガアリマスガ、矢張軍法會議ノ長官ト云フ方デハ、軍令機關ニ非ズシテ、軍政機關ト見テ居リマス、總テソレデ出來マシタ、世間ニハ色々ナ議論ガゴザイマスケレドモ、歴史ヲ問ヒ、性質ヲ問ハナヌラバ、軍紀維持ノ爲メノ軍事裁判デアアルカラ、是ハ軍令事項デアツテ、軍政事項デナイ、昔カラサウデアツタガ、兎ニ角今日ハ實際サウハ行カヌ、ソレハ軍事司法、軍事裁判ト云フ事ガ、參謀總長ノ所管ニナツテ居リマセズ、陸軍大臣ノ所管ニナツテ居リマス、各國ノ制度モ大概サウナツテ居リマス、ソコデ軍政ノ首腦者デアアル陸軍大臣ガ、公訴搜查ヲ指揮監督スル、ソレデ高等軍法會議ノ長官ト云フ一種ノ機關モ、矢張軍政ノ方ノ長官デアアル、師團長モ皆軍政機關ニ此場合ナ

ルノデアアル、斯ウ云フ議論デ終始一貫シテ居ルノデアリマス

○内田政府委員 只今ノ説明ニ附加ヘテ置キマス、要スルニ第十條ノ規定ハ、陸軍大臣又ハ海軍大臣、師團長又ハ鎮守府——軍法會議ニ在ッテハ、鎮守府司令官ガ長官ニナル、ソレデ「長官」ト書キマシタノハ、本法ニ於キマシテ長官ト云フ文字ガ澤山出マス、海軍大臣、鎮守府司令官長官、要港部司令官ト云フ風ニ文字ヲ並ベマス事ハ、體裁上宜シウゴザイマセヌ、ソレデ「長官」ト云フ概括の文字ヲ一ツ作リマシタ、是ハ一箇ノ名稱ニ過ギザルモノデアリマス、ソレデ六十條ニ於キマシテハ、是ハ陸軍大臣若クハ海軍大臣ヲ指シタモノデアリマス、ソレデ此所ニ陸軍大臣若クハ海軍大臣ト云フ名稱ヲ用キタノハ、他ノ法條ニ所謂長官ノ方ニハ關係ノナイ條文デアアル、單獨ニ此字ガ出マスノデ、此所ニ單獨ニ大臣ト云フコトヲ現ハシタノデアリマス、サウ云フ風ノ解釋ヲ致シテ居リマス

○横山金太郎君 大體ハ分ッテ居ルガ、念ノ爲メニ御伺ヒシテ置キマス、是迄政府委員ノ御説明ニ依リマシテ、不告不理ノ原則ガ認メラレテ居ル、然ルニ今御説明ノ中ニモ、豫審官ハ裁判官デアアル、裁判ノ中ニハ命令ノ決定モ判決モ置クノデゴザイマセウガ、苟モ裁判官デアアルト云フコトニナレバ、公訴ノ提起ガアツテ、始メテ裁判事務ニ從事スルト云フ見地カラシテ、矢張此公訴ノ提起ニ依ッテ豫審ノ働モ起ッテ來ルト云フ風ニナツタ方ガ宜イコトハナイカ、又退イテ考ヘルト、公訴ハ刑ノ適用ヲ目的トスルノデアアル、豫審ハ證據ヲ纏メルノデアアルト云フ一局部ニ局限シテ、二ツニ分レラレタノヤウニ思ヒマス、何故ニ現行刑事訴訟法ノ通りニ、公訴ノ提起ニ依ッテ豫審判事ノ働ガ起ルト云フ風ニ、現行刑事訴訟法ノ規定ニ御倣ヒニナラナカッタノデアリマスガ、若シ之ヲ分ケルノ必要ガアルトスレバ、ドウ云フ必要ガアツテ、請求ト云フコト、公訴ノ提起ト云フ事ノ二ツニ御分ケニナツタカ、此點ヲ伺ッテ置キマス、ソレカラ序デアリマスカラ御伺ヒ致シマスガ、渡邊サンノ御尋ニ、辯護人ノ選任ハ、現行刑事訴訟法カラ申シマス、矢張其辯護人

ト云フモノハ公ニ認メテ居リマセヌ、公判ニ移ッテ始メテ辯護人ト云フモノヲ公式ニ取ル事ニナツテ居ル、サリトテ從來ノ取扱ヲ見マスルト、辯護人ノ選定屆ダケハ豫審中ト雖モ受理シテ居ル、辯護士選定若クハ當面ノ問題ニ就テ、内容ニ入ッテノ談話ナドハ出來マセヌケレドモ、自宅ニ在ル所ノ父兄ノ證據ノ如キ事實ヲ聞カズシテ、其モノヲ豫審ヘ提出セヨト云フ位ノ程度迄ノ話ハ許サレルト思フノデアリマス、現行ノ監獄法並ニ陸海軍ノ監獄法ト云フモノニ依リマシテモ、接見ハ一般的ニ許サレテ居ル様デアリマスルガ、斯ノ如キ場合ニ於キマシテ、從來通常裁判所ナリ、普通ノ監獄ガ扱ッテ居ル様ニ、現ニ政府委員ノ御言葉ニ依リマシテモ、通常裁判所ト同ジャウニ、辯護人ノ選定屆等ニ就テハ實際上ノ便宜ヲ與ヘルノデアルト仰シヤイマシタ、其辯護人屆ヲ御受理下サルト同一ノ便宜ヲ、接見其他ノ事ニ就キマシテモ御許シ下サルコトハ出來ルデハナイカト思ヒマスガ

○志水政府委員 此裁判ト云フ事柄ハ、公訴提起後ニアルベキコトデ、公訴提起前ニハ裁判ナルモノハアリ得ナイト思ヒマス、是ハ刑事訴訟法改正案ノ趣旨モサウ出來テ居リマス、故ニ其趣旨ノ異ナルモノハ、陸軍デ申シマス二百二十二條ノ前四條ノ規定ハ豫審官裁判ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用スルデアリマス、是ハ即チ裁判ノ規定デアリマス、裁判ノ規定ガ豫審官ニ適用サレル、加フルニ豫審官ガ裁判ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ストスウ書イテアリマス、豫審官ガ——即チ公訴提起前ノ豫審、ソレニ從事スル豫審官モ裁判ヲ爲スベキモノト見テ居リマス、其裁判デアアルカ、裁判デナイカト云フノハ、其事物ノ性質カラ見ルト云フ意味ニナツテ居リマス、デ此裁判ト云フ手續ハ、矢張學說ヲ採用致シマシテ、判決、命令、決定、皆ナ裁判シテ居リマスカラシテ、其意味ニ於ケル裁判ハ豫審官モシテ居リマス、ソレデサウ云フ意味デ、豫審官ハ性質カラ申セバ裁判官デ、隨テ裁判ヲスル事モアル、斯ウシテ居リマス、ソレカラモウ一ツハ辯護人ノ選任デアリマスルガ、是ハ先刻ノ御尋ニ對シテ御答致シマシタ如ク、此法規上選任ト申ス事ハ、其軍法會議ニ向ッテ意思ヲ發表スル狀態ヲ選任ト申シテ居リマス、

其前ニ被告入ト辯護人トノ間ニハ、無論約束ガアリ得ル話デアル、ソレハ一向此法律ハ關係致シマセヌ、ソレデ事實上ノ選任ガアツタ以上ハ、如何ナル程度ニ其選任實行ヲ許スカドウカト云フ事ハ、マダ研究ヲシテ居リマセヌ、是ハ殊ニ差支ナイ限リハ、普通裁判所ニ例ガアルガ、是ハ宜クアルマイト思フ、併シマダ之ニ對スル研究ハシテ居リマセヌ、監獄令ノ關係ハ陸海軍ノ監獄令モ、一方ハ監獄法、陸海軍ハ勅令ニナツテ居リマセヌ、其規定ノ内容精神ニ於テハ、殆ト同様に出來テ居リマスカラ、向フデ何カ適宜ナ扱ガ出來レバ、此方デモ出來ル譯ニナル次第デアル

○委員長(鶴澤總明君) 質問ハ終了シテ宜シウゴイマスカ(異議ナシ)ト呼フ者アリ)ソレデハ陸軍軍法會議法案ト海軍軍法會議法案トハ、質問終了ニナリマシタ、他ニマダ此結果トシテ、小サイモノガアリマサガ、ソレハ如何デス(ソレモ宜シウゴザイマス)ト呼フ者アリ)宜シケレバ一括シテ質問終了ト致シマス、ソレデハ午後二時半頃此所デ決議ヲ致シマス

是デ暫時休憩致シマス

午前十一時五十一分休憩

午後三時七分開議

○委員長(鶴澤總明君) 是ヨリ午前ニ引續キマシテ陸軍軍法會議法案外十一件ノ委員會ヲ開キマス

○三善清之君 ソレデハ意見ヲ申上ゲマス、此海陸軍軍法會議法案並ニ之ニ附帶致シマス所ノ法案ニ就キマシテハ、過日來色々政府委員ノ御説明モ承ハリマシテ、多少法理上或ハ實際上ニ於テ、如何カト思フ點モナイデハアリマセヌガ、殊ニ委員諸君ノ中ニハ法律專門ノ諸君モ居ラレマス、ソレアリマスカラ、一字一句色々點ニ御意見モアリマセウト考ヘマス

ケレドモ、浩瀚ナル此法案ニ對シマシテ、一字一句ニ意見ヲ加ヘテ參リマシタ時ニハ、多クノ時間ヲ要スルダラウト思ヒマス、大體ニ於テ此法案ハ當局者ノ十分調査研究ノ上ニ拵ヘタモノデアル、殊ニ又貴族院ニ於キマシテモ、只今本員ノ申上ゲルヤウナ意味ニ於テ、全部ヲ賛成シテ可決シタヤウニ承ツテ居リマス、仍テ此委員會ニ於マシテモ、此意味ヲ以テ此法案ヲ可決致シタイト考ヘマス

○渡邊照君 只今ノ三善君ノ御意見ニ賛成デアリマス、陸軍軍法會議法案外十一件ハ、大體ニ於テ之ニ賛成致シマシテ、只今ノ希望條件ハ、要スルニ第八十八條一號二號三號デアリマスガ、主トシテ第三號ノ陸軍大臣ノ指定シタル辯護士ト云フコトニナリマス、或ハ一般辯護士會ニ籍ヲ置カナイト云フ事モ解釋ガ起ルノデアリマス、故ニ辯護士ノ資格ヲ有スル者ハ、先ヅ大體ニ於テ指定セラル、辯護士ト云フコトニ願ヒマシテ、尤モ其辯護士中ニ於テ、刑事上若クハ辯護士會則ニ違反シテ取調ヲ受ケタヤウナ者ハ勿論除外スルノデアリマス、ソレドモ、ソウデナイ者ハ、總テ此指定サレル辯護士デアツテ、辯護士ハ全體ニ於テ指定辯護人デアルト云フ御取扱ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ以テ此案ニ賛成致シマス(贊成)ト呼フ者アリ

○八田宗吉君 只今ノ希望ニ對シテ、當局ノ意見ヲ一應伺ツテ置キタイト思ヒマス

○志永政府委員 御趣意ハ能ク分リマシタノデ、此指定ノ方針トシテハ、成ベク廣イ範圍ニ於テ指定スル方針ヲ執リタイト思ヒマス、併シ辯護士ハ皆悉ク指定スルコト云フ譯ニハ參ラヌト云フコトハ御認メニナツテ居リマス、成ベク御希望ヲ滿スヤウニ指定スルコトニ心配致シマス、云フコトダケハ申上ゲマス、如何ナル範圍ノ人ニ指定スルカト云フコトハ、一寸今具體的ニ申上ゲ兼ねマス、唯ダ御希望ノ趣旨

ダケハ承ツテ置クコトニ致シマス

○荒川五郎君 此ハ此巡查看守退穩料及扶助料法中改正法律案ニ就テ質問致シタイト思ヒマス、此巡查ノ如キハ、或ハ武器ヲ携ヘタル危險ノ場合、又ハ惡病蔓延ノ危險ノ場合ニ生命ヲ惜マズシテ突進シナケレバナラヌノデアリマシテ、軍人ハ非常ノ場合生命ヲ賭シテ、サウシテ國防ニ任ズル、巡查ハ平時ノ場合ニ同ジク生命ヲ賭シテ職務ニ盡サシケレバ相成ラヌ、國家非常ノ場合ト、國家常ニ起ル場合トノ違ノミデ、其等ノ間ニハ殆ト區別ハ無イト思ヒマス、軍人ノ恩給ト巡查ノ恩給、即チ退穩料トハ、餘程法律規定ノ根本ヲ異ニシテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、其等

ニ就テハ政府ハ此法律ヲ改正スル——此箇條以外ニ當ツテモ改正スル必要アリト御認メニハナラヌノデアリマスガ、先ヅソレヲ伺ヒマス

○川村政府委員 只今ノ御尋ノ御趣意ガ能ク分リマセヌガ、此改正ノ趣意ハ斯ウ云フノデアリマス……

○荒川五郎君 一寸申上ゲマスガ、本案改正ノ趣意ハ能ク分ツテ居リマス、私ハ此改正ト同時ニ尙ホ他ノ澤山ノ改正ヲ必要ト思フタノデアリマス

○川村政府委員 政府ハ今此改正ノ必要ハ認メテ居リマセヌ

○荒川五郎君 巡查ガ職務ノ爲メニ傷病ヲ受ケ、又ハ疾病ニ因ツテ、或ハ手足ヲ失ウタリ致シマシテ、職務ニ堪ヘナイデ退職スルコト云フ場合ハ、往々アルノデアリマス、サウ云フ場合ニハ、退穩料ハ退職當時ノ月俸三箇月分以上六箇月分ト心得テ居リマスルガ、サウデアリマスガ

○川村政府委員 確カサウ思ヒマスガ、併シ尙ホソレハ調ベテ申上ゲマセウ

○荒川五郎君 斯ル危險ノ場合ニ職務ヲ行フ爲メニ、身體ガ不具トナリ廢疾トナツテ、職業ニ從事出來ヌ者ガ、唯ダ其給料ノ割合トカ、或ハ退穩料ノ幾割ヲ増スト云フヤウナコトデナク、其者ガ生活シ得ルヤ否ヤト云フコトノ上ニ規定ヲ立テナケレバナラヌト思フ、國家ノ爲メニ盡シタ者ガ、生キテ行カレナイト云フコトデアツテハナラヌ、立チ行カレルト云フコトニシナケレバナラヌト思フ、其點ヲ御尋シタノデア

リマスガ、勿論簡條ノ詳シイコトヲ御誦誦ニナッテ居
ルト思ヒマセスカラ宜シウゴザイマスガ、尙巡查看
守退隱料及遺族扶助料法デハ、怪我ヲシタトカ、病氣
ニ罹ッタ者ガ、其後一年以内ニ其病氣若クハ怪我デ職
務ニ堪ヘヌヤウニナッタ場合ニハ、斯様ト云フコトガ
アリマスガ、其怪我トカ病氣ト云フ事ノ結果、癱瘓不
具ニ陥ルト云フ場合ガ、一年ノ後ニモ隨分アルト思
ヒマス、ノミナラズ私共實際ノ例ヲ聞イテ居ルノデ
アリマス、然ルニ一年以内ノ限ラレテ、僅ニ一年以後
デアッタナラバ、其者ニハソレダケ救済ヲ與ヘスト云
フ事ノ如キハ、徒ニ形式ノ規定ニ拘ハッテ、實際ノ實
情ヲ顧ミナイ冷酷ナル法律ト思フノデアリマス、其
他巡查看守、議會ノ守衛、之ニ類スルモノハ世間デハ
低イ職務ト見テ居ル者ニ、生命ヲ賭シテヤル場合ガ
澤山アルノデアリマス、ソレ等ハ成ベク斯様ナ法律
ヲ改正セラレル場合ニ、唯ダ他ノ法典ニ伴フノミナ
ラズ、他ノ機會ニ於テモ改正セラレルコトガ必要ト
思ヒマス、ドウモ少シ下級ノ官職ニ從事スル者ニ對
スルコトガ、閑却セラレ勝デアル、兎角上級ノ方ガ宜
クナッテ居ル、巡查看守ノ恩給法ノ如キモ、其明カナ
ル一例ト私共ハ常ニ思ウテ居ルノデアリマス、ソレ
デ只今其質問ヲ發シタ譯デアリマスケレドモ、今直
ニ本案ヲ修正スルト云フコトハ困難ト思ヒマスガ
ラ、此場合希望ヲ申上ゲテ置クニ止メマス

○川村政府委員 先刻御尋ノ職務ニ起因スル所ノ疾
病ニ依ッテ死亡シタ場合ニハ、巡查看守療治料給與令
及弔祭料給與令ノ規定ニ依リマシテ、ソレト適當
ナ額ヲ給與スルコトニナッテ居リマス、即チ第三條ニ
明記シテアリマス「弔祭料ハ死亡當時ニ於ケル月俸
一箇月分トシ、勤続一年以上九年ニ至ル迄一年ヲ加
フル毎ニ死亡當時ニ於ケル月俸額三分ノ二ヲ増加ス
但シ職務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ又ハ職務ニ依リ健康ニ有
害ナル感動ヲ受クルヲ顧ミルコト能ハスシテ任務ニ
從事シ爲メニ疾病ニ罹リ因テ死亡シタル者ニ更ニ死
亡當時ニ於ケル月俸六箇月分ヲ附加ス」斯ウ云フ風
ナ規定ガアリマシテ、相當考慮シテ居ルノデアリマ
ス、尙ホ只今ノ巡查ニ對スル諸種ノ給與ニ關スル事
ノ御質問デアリマスガ、政府モハ同感デアリマス、

唯ダ種々ナル關係カラ十分ニバ行キマセヌガ、併シ
御承知ノ如ク政府ハ昨年警察官ノ共濟組合ナルモノ
ヲ起シマシテ、地方費ヨリ俸給ノ百分ノ二、ソレカラ
警察官ヨリ同ジク百分ノ二ヲ出シマシテ、サウシテ
百分ノ四ト云フ金ヲ共濟基金ト致シマシテ、ソレ
ゾレ疾病其他退職等ノ場合ニ於ケル給與ヲスルコト
ニ勅令ヲ以テ定メマシテ、尙ホ又目下私共ガ考ヘテ
居ル所ノモノハ、今日警察官ヲ以テ組織シテ居ル所
ノ警察協會ナルモノガアリマス、是ハ目下資本モ乏
シクシテ、大シタル給與モ出來マセヌガ、併シ其力ノ
及ブ範圍ニ於テ、相當ノ事ヲヤッテ居リマスケレド
モ、時勢ノ進運ニ伴ッテ、更ニ其給與ヲ増大シタイト
考ヘマシテ、目下ソレノ調查中デアリマス、近ク全
國ヨリ多數ノ寄附金ヲ募集シマシテ、彼等ニ對シテ
救済シタイト考ヘテ居リマス、是ハ何處ノ國デモ公
ノ給與モゴザイマスケレドモ、私設團體等ニ依ッテ相
當ノ給與ヲシテ居ル例ガアリマスカラ、我國ニ於テ
モ多額ノ資金ヲ警察協會ニ設ケマシテ、是ガ利殖ノ
方法ニ依ッテ、警察官ニ多大ノ救済ヲシタイト考ヘテ
居ルノデアリマス、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○荒川五郎君 質問ヲ打切りマス

○委員長(鵜澤總明君) 質問ハ總テ終了ト致シマシ
テ宜シウゴザイマスガ

○三善清之君 先刻希望ヲ述ベマシタガ、明確ニ文
字ニ書キマシタコトヲ茲ニ朗讀致シマスカラ、速記
録ニ御掲ゲテ願ヒタイ、ソレハ八十八條ノ二項三號
ノ規定取扱ニ關スル希望條件デアリマス、辯護人ノ
選任ハ一般辯護士ヨリ指定シテ普ク被告人ノ爲メ
辯護權擁護ニ努ムルノ方針ヲ取ラルヘシ 斯ウ云フ
ノデアリマス

○委員長(鵜澤總明君) 此委員會ノ希望デアルト承
知シテ宜イノデスカ、別ニ之ヲ條件トシテ賛成スル
ト云フ譯デハナイノデスカ

○三善清之君 サウデス

○委員長(鵜澤總明君) ソレデハ陸軍軍法會議法案
外十一件ノ法案ニ就キマシテハ、只今ノ希望ノ御意
見ハアリマシタガ、ソレ以外ニ於キマシテ……

○八田宗吉君 一寸私ハ申上ゲタイ、私ハ軍法會議

處刑人員ノ統計表ヲ見テ殊ニ感ジマスノハ、陸軍ハ
二十四年當時カラ見マスト兵士ノ數ガ非常ニ殖エテ
居ル、海軍モ其通りデアリマス、ソレニモ拘ラズ犯罪
件數ガ非常ニ減ッテ來テ居ル、二十四年當時ニ於テ、
陸軍ノ方ハ八百人ニ付テ二人七分五、斯ウ云フヤウナ
數デアリマシタガ、近年ニナリマシテハ、百人ニ付テ
○、五一ト云フ様ナ數ヲズウツト現ハシテ居ル、殆ド
軍法會議デ處刑サレル所ノ兵卒ノ數ガ無クナッタト
云フ様ナ程、減少シテ居ル、驚クベキ風デアリマス
ガ、喜ブベキ現象デアリマス、是ハ畢竟スルニ、社會
教育ト軍隊ノ教育ガ相俟ッテ、サウシテ頗ル斯ウ云フ
方面ニ對スル教育宜シキヲ得タルヲ認メマスト共
ニ、今後新シク軍法會議法ニ依ッテ此法律ヲ實行サレ
ルニ當リマシテ、教育方面ニ對シテ更ニ一層注意ヲ
ナサレテ往ッタナラバ、殆ド事件ガ無クナッテ來ルデ
アラウカト思フ程、ソレ程此法案ニ對シマシテ、特ニ
其感ヲ深ウ致シマスカラシテ、教育方面ニ於テ喧爭
ノ風ヲ——爭ノナカラシメンガ爲メ、教育ニ對シマ
シテ一層ノ注意ヲサレンコトヲ希望シテ置キタイト
思ヒマス、特ニ此表ヲ見マシテ思見ヲ申述ベテ置キ
マス

○委員長(鵜澤總明君) 原案ニ就テ御異議ゴザイマ
セスカ

○委員長(鵜澤總明君) ソレデハ是等ノ諸案ハ總テ
全會一致ヲ以テ可決サレマシタ、今日ハ是デ散會致
シマス

午後三時三十二分散會